

第2次三朝町教育ビジョン策定審議会 第3回会議 議事録

- 1 日 時 平成30年12月13日(木)午後4時15分～午後6時00分
- 2 会 場 三朝町役場2階 第3会議室
- 3 出席者 【委員】別紙名簿のとおり3名出席
【事務局】西田教育長・藤井課長・角田課長補佐・福田主任・山本主任
- 4 概 要 【議 事】第2次三朝町教育ビジョン修正案の概要について

5 内 容

(1) 教育長あいさつ

- 【教育長】
- ・2名の委員さんは年末で都合がつかず、文書として貰っているので、事務局の方から報告してもらおう。
 - ・小学校統合が目前に迫ってきた中で、学校教育のあり方を皆さんにご検討いただき、そろそろ成案に近づいたのではないかと考えている。
 - ・今後、これを答申としていただき、教育委員会で協議後、最終的にそれを成案として公表していくことになる。
 - ・もう少しなので力を貸していただき、その後はできれば外からチェックする立場で、ご意見を拝聴する機会をつくりたいと考えているので、よろしく願いしたい。
 - ・本日、小学校統合の関係で臨時の教育委員会を4時半から開催する予定の為、課長、課長補佐と中座させていただくが、よろしく願いしたい。

(2) 座長あいさつ

- 【座 長】
- ・年末の御多忙の折お集まりいただき、ありがとうございます。気温が随分下がっている中で、くれぐれもご自愛なさってくださいようお願いしたい。
 - ・第2回に出席できず、大変失礼した。
 - ・事前に議事録を拝見したが、大変活発に、深いところまで丁寧に細かく案を見ていただいております、確かにそうだなということにあふれた意見交換をしていただいていると感じた。
 - ・加えてこの意見を丁寧に拾っていただき、事務局をはじめ、皆さんに大変丁寧に修正していただいたものを見ていながら、今日は進めていきたい。
 - ・年明けに第4回を予定しているが、そこはほとんど完成されたものをチェックするというようにしていくためにも、今日は徹底して細かいところまで、どんなにささいなことでも2人の委員さんにご指摘をいただきながら、丁寧に進めていきたい。

(3) 議 事 第2次三朝町教育ビジョン修正案の概要について

- 【事務局】
- ・ビジョン(案)として今日配布しているものは、事前に郵送させていただ

た後に校長先生、事務局の学校関係、社会教育関係、図書館、それぞれが所管するところについて校正し、それを反映させたもの。

- ・校正を反映した箇所は赤字ではなく、黄色いアンダーラインを入れたところ。
- ・今回は基本目標（1）まで議論をいただいたので、今日は基本目標（2）からになるかと思うが、前回からの修正等もあるため、最初から説明を加えながら話を進めたい。
- ・目次からページ数の変更等による修正に伴い赤字になっている。
- ・5ページ（1）策定の背景について、前回、委員さんにご指摘等いただいた保育所保育指針を追加した。併せて平成30年6月に閣議決定されたことに伴い、教育振興基本計画を「第2期」から「第3期」として修正した。加えて校長先生から指摘があり、不登校だけではなく、いじめの対策も併せてという事があり、今、ある、ないということに関わらず追加している。
- ・7ページ目、児童生徒数が飛躍的に増加することは、という表現に修正した。
- ・8ページ目の中ほど、表現の仕方という事で前回指摘があり、校長先生からの指摘もあったため記載のとおり修正した。
- ・学力状況調査の表等が前回のまま残している。今回は上がった部分を赤、下がった部分を青としていたが、点数に捕られるものではないというご意見もあったため、事実を事実として客観的に載せるということで、太字にする程度としている。
- ・9ページ目、豊かな心を育む教育活動についても、表現の変更ということで記載のとおり修正をしている。
- ・10ページ目、滋賀県多賀町の辺りの記載について、前回話があったので、不要だと思われる部分を省略等行った。
- ・同じく10ページ、体力・運動と状況について、能力という表現を削除、幼児教育期からのつながりという話があったため、表現を修正した。
- ・11ページ目、運動習慣等調査結果について、学習状況調査と同様に事実を事実として示すとともに、委員さんから話のあった総合点数について割愛した。
- ・11、12ページ、いじめ・不登校の防止および、子どもの貧困問題への対応について、表並びに具体的な数値等を削除し、事実のみ伝える客観的に伝えるような表現に変えている。
- ・13ページ、面積等の表について、三朝中学校の耐震補強の年数は2008（H19）とあるのは2008（H20）に修正させていただきたい。
- ・17ページ、指標「将来の夢や目標を持っていますか」について、小学生の目標値が全国の現状値よりも低いということで指摘があり、目標としては今の全国より上の数値ということで、中学生と同等の90%として修正した。
- ・18ページ目、副座長さんから話のあったとおり、冒頭の表現について修正した。
- ・同じく18ページ、Ⅱ①教育研究の推進について、三朝町教育研究会（以下、町教研）というものを具体的な施策として挙げていたが、統合を控える各小学校からの要望として、今の町教研のあり方を検討した方が良いのではという議題が挙がっている。今の研究のあり方が、現場の先生たちに負担を負わせているような内容があり検討しようということで、来年そのまま予算が付くのか分からない状況にある。本来ここでうたいたいことは町教研の話ではなく、小学校と中学校がそれぞれ切磋琢磨できるような連携ができる、そういったあり方を検討するという事が1番の目的である。来年は少なくとも小学

校が1つになる中で、今後の小中連携のあり方、これは教育の研究だけではなく、例えば教材の使い方にしても小中で同じ教材を使う等、そういった細かい連携から来年は協議をしていきたいという学校からの意向を踏まえ、記載のとおり表現とした。

- ・ 19 ページ、同じく表現について学校から指摘があり、記載のとおり修正した。
- ・ 20 ページ、IV学びの連続性について、①保小中連携の推進についても町教研という記述があったため、保小中の連携のあり方ということで記載のとおり修正した。

- 【座長】
- ・ 前回議論を行っていただいた 20 ページまでについて、この委員以外の、学校の先生方等に見ていただいて加わった修正について説明があった。
 - ・ 特に黄色のマーカーの付いた箇所についてご確認いただき、特に異論がなければ、あらためてご覧になって修正が必要と思われるようなことがあれば、指摘をいただくという段取りで行きたいと思う。
 - ・ まずは黄色いマーカーの付いたものについて、ご異論はないか。

- 【副座長】
- ・ 5、7 ページについては良い、8 ページもここの評価で言えば活用力で良いと思う。

- 【座長】
- ・ 9 ページ、総合的な学習「の時間」まで入れてはどうか。

- 【副座長】
- ・ 正しくはそうだと思う。

- 【座長】
- ・ その次の学習は良い。

- ・ 10 から 13 ページも良い。

- ・ 17 ページについては全国を上回る目標値を設定いただいたということで、目標値が 90%になった。

- ・ 18 から 20 ページについても特によろしいか。

- 【各委員】 (意見等なし)

- 【座長】
- ・ それでは 20 ページまで見たところで、さらにお気づきの点があればお願いしたいと思う。

- 【副座長】
- ・ 5 ページについて、保育所から小学校へのつながりという文言を入れていただいて、保育指針のことも書いてあり本当に良いもののができたと思う。
 - ・ 1 つ気になるところは、4 段落目『「第 3 期教育振興基本計画」が平成 30 年 6 月に～教育のあり方が示されました。』について、これは第 3 期教育振興基本計画に基づいた話だと思うが、「保育所」という記載が気になる。
 - ・ 第 3 期教育振興基本計画の中で、幼稚園と保育園が抜けているような表記がされていたか。

- ・ 「幼児期」から小学校へのつながりというように、幼稚園や保育園も入れておく必要があるかなと思う。

- 【座長】
- ・ 今の点で、「幼児期から小学校への」とした方が、スムーズにいくかもしれない。

- 【委員】
- ・ 三朝町は 1 つ、こども園になっている。それは保育所型のこども園であり、中部にあるこども園は幼稚園型のこども園である。

- ・ 幼児期の方が良いと思う。

- 【座長】
- ・ 5 ページについて、他によろしいか。

- 【委員】 (意見等なし)

- 【座長】
- ・ 6、7 ページについてはどうか。

- ・ 私からは 1 点、6 ページの 1 番上『心豊かで“キラリ”と光る町』の部分について、鍵括弧(「」)で括っても良いのかなと思う。

- ・ 7 ページも良いか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座長】 ・ 8、9 ページについてはどうか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座長】 ・ 10、11 ページについてはどうか。
- 【副座長】 ・ (5) いじめ・不登校の防止について、『「どの学校にも起こりうる」～迅速な対応を図る必要があります。』というのは、大事なことだと思いメモを取った。
- ・ しっかりおさえられており良いと思う。
- 【座長】 ・ 12、13 ページについてはどうか。
- ・ 私から 1 点、13 ページ中ほど (8) 学校教育施設の現状の 2 段落目に「急速する少子高齢化」とあるが、「急速する」という言葉は使うか。
- ・ 急激に加速するとかいう言葉であれば分かるが、どうか。
- 【事務局】 ・ 修正する。
- 【座長】 ・ 14、15 ページについてはこれで良いか。
- 【委員】 ・ 12 ページ (6) 特別支援教育における支援体制について、「特性がある」「発達特性がある」の「ある」という表現、今までは「持つ」という表現であったと思うが、最終的に「ある」という表現で良いか。
- 【事務局】 ・ これは校長先生から指摘があったもの。
- ・ 元々は「持つ」と書いていたが、「ある」にした方が良いというご意見であった。
- 【委員】 ・ 今までいろいろな文書を書く時に問題になってきた。
- ・ 今はこれらの特性を生かすということが当然のことになっている。
- ・ 学校の先生方としっかりコンタクトを取っているということであれば良い。
- 【座長】 ・ 16、17 ページについてはどうか。
- 【副座長】 ・ 17 ページについて、私が学校に居た時の学年に応じた家庭学習時間は、6 年生で 60 分は行ってほしいというようなことだった。
- ・ 指標にも出ており小学校の目標値が 85%になっているが、2028 年までの 10 年間の目標であれば 90%くらいまで目指してほしい。
- ・ 小学生であれば 1 時間くらいはしてほしいなという思いもある。
- ・ 学校の校長先生が言われたのであればとも思うが、中学生が 90%ということもあるため、小学 6 年生もそれくらい頑張してほしいなという気持ち。
- 【座長】 ・ 発達段階の違いはあれ、確かに中学生が 81.9%に対して 90%になっている。
- 【副座長】 ・ 頑張してほしいなという願いがあった。
- 【座長】 ・ 90%にしておくか。
- 【事務局】 ・ これは大丈夫。
- 【座長】 ・ では 90%に修正をお願いします。
- ・ 18、19、20 ページについてはどうか。
- ・ 私からは、18 ページ「Ⅱ教育課題に対応する教育の推進」がページをまたいでいるため、19 ページの方は「(続き)」という言葉でⅡの見出しの下に入れてはどうか。
- ・ 同様に他のページについても、ページをまたいでいるものについては「(続き)」と記載した方が見やすいと思う。
- ・ 他はどうか。
- 【副座長】 ・ 18 ページ、教育研究の推進について、初めに読んだとき「個々にではなく」という言葉が不要だと思ったが、黄色で修正してあるとおりで良いと思う。

- ・19 ページ③キャリア教育の推進について、前回「方向性の見出し」とあり、「みだし」「みいだし」と両方読めるため、「みいだし」と読めるようにした方がと考えていたが、黄色で修正してあるとおりで良い。
- 【座 長】
- ・20 ページについてはどうか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座 長】
- ・それでは21 ページの基本目標から最後のページまで丁寧に見ていきたい。
 - ・黄色の部分については学校からいただいた提案ということで、ある程度見れば分かると思う。
 - ・事務局から説明をしていただくのではなく、どんどん意見を言っていくという形で進めていこうと思うが、どうか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座 長】
- ・それではまず21 ページについてはどうか。
- 【副座長】
- ・訂正してくださいという訳ではないが、読書の時間について、中学生で10分以上読書をしている割合が49%というのが気になる。
 - ・中学生の1日の生活を考えた時、部活や勉強、スマホもあるため、かなりエライのかなとも思うが、それでも10分と考えるとどうなのか。
 - ・カウントはされていないかもしれないが、始業前の朝読書、特に小学校ではされているのではないかとも思う。
- 【座 長】
- ・調査をするときに学校の先生がその一言を言ってから丸を付けさせるかということでも違ってくる。
- 【副座長】
- ・特に問題行動が多くて教室がざわざわしているような学級にあっては、スタートに読書をして落ち着かせてから授業に入る方が、スムーズには入れるということを知ったこともある。
- 【座 長】
- ・私からは上から3行目「豊富な読書をはじめ」の後、通常の順番に従って「音楽、図工・美術、保健体育、道徳」の方がきれいだと思う。
 - ・その他は良いか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座 長】
- ・22、23、24 ページについて、黄色いところで追加されたのは学校で指摘されたことと、事務局で事業をされているものに星印を加えたということだと思うが、どうか。
- 【副座長】
- ・23 ページ①文化芸能体験の充実の具体的事業について、町マイクロバスの活用とは具体的事業になるのか。
 - ・書くのであれば、町マイクロバスの有効活用かなと思ひ、なくても良いのかなとも思うが、挙げておく方が良いか。
 - ・気になるが、あっても構わない。
 - ・③読書に触れる機会の充実の学校支援推進事業について、ボランティアの方が学校に行って本の読み聞かせ等を行っているが、それはこの事業に入るか。
- 【事務局】
- ・そのとおり。
- 【座 長】
- ・委員はどうか。
- 【委 員】
- ・私も読書活動について、中学校もいろいろな子どもの状況に合わせて行っているが、それをどの辺りでどのように理解すれば良いのか、どの項目の中だと悩む。
 - ・読書に触れる機会の充実だが、中学校はもう朝朗読ではなく難しくなったので、私も中学校は休憩させてもらっている。
 - ・読書に触れる機会の充実も、小学校の下畑朗読会のボランティアに出ている

- が、小学校と中学校では違う。
- ・充実ということがあるため、何かの形で具体的なものが入らないかなと感じている。
 - ・こうしてくださいということは、読み聞かせの機会を提供することが入っているので、それで良ければそれで良いが、もう少し検討してもらえればと思う。
 - ・三朝町のあり方というものは、ボランティアの朗読も中学校は違う形態になっているため、その辺りを感じた。
- 【座長】
- ・今の話は次の④とも関わってくるかもしれない。
- 【副座長】
- ・そう思う。私も委員さんが言われたこと、本の読み聞かせ等ボランティアで行ってくださっていることは、本当にありがたいと思うし、すごいと思う。
 - ・もう一つ、町の教育委員会がよく放送しているあいさつ運動、校門等で保護者の方と一緒に立っていると思うが、どこか具体的事業の中に入れてはどうかと思うが、既に入っているか。
- 【事務局】
- ・あいさつ運動は入っていない。
- 【副座長】
- ・あれは何の事業で行っているものか。
- 【事務局】
- ・大人の背中運動といって、前の教育ビジョンができたころにそういった活動をしようと始まったもの。
 - ・現在の実情は、事務局が中心になり各団体の方に呼び掛け、各学期始めくらいに学校へ行き、あいさつをするくらいの活動になっている。
- 【座長】
- ・大人の背中運動はどこかに入っているか。
- 【事務局】
- ・入っていない。
- 【座長】
- ・入れることが可能であればどこかに入れてはどうか。
 - ・内容の詳細が把握できていないのでこれ以上は言えないが、先ほどの委員のご指摘も含めて。
- 【委員】
- ・23 ページⅡ情操教育の推進③読書に触れる機会の充実だが、「児童生徒」に読み聞かせの機会をとっているが、幼児、保育園にも読み聞かせに行っている。
- 【事務局】
- ・児童生徒と言うよりは「子どもたち」に修正しようと思うが良いか。
- 【委員】
- ・子どもたちという方が良いと思う。
- 【座長】
- ・大人の背中運動の位置づけについては事務局の方で検討していただき、入れるのか、この度は見送るのかを整理してください。
 - ・その他はどうか。
- 【各委員】 (意見等なし)
- 【座長】
- ・基本の目標(3)に入っていきたい。
 - ・25、26、27 ページについて、お気づきの点があればお願いしたい。
- 【副座長】
- ・25 ページについて、私が日ごろ思っていることだが、子どもの健全育成に大切なこととは、アンケートにあるように睡眠時間の確保、食生活の改善、生活習慣の改善とあるが、もう一つ大事にしてほしいことが、家族とのふれあいの時間の確保ということが大切だと思う。
 - ・家族とふれあう時間の大切さというものが、どこかに入らないか。
 - ・朝食のことについて、以前、新聞にどこかの町村で朝食を行政が用意するという記事が出ていたと思う。
- 【座長】
- ・広島だったろうか。
- 【副座長】
- ・広島でしたか。
 - ・私が在職していた時ですから随分前になるが、岡山県でもある町が朝食の提

- 供を始められた。
- ・これについては賛否両論あり、本当にそこまでののかなとも思うが、先日テレビか新聞で紹介され、食べた子には効果があるというコメントが出ており、気になったので紹介しておく。
- 【事務局】
- ・昨今話によく出てくる、いわゆる子ども食堂のような話。
- 【副座長】
- ・そのとおり。
- 【座長】
- ・家庭の問題というものを、この教育ビジョンの中にどう取り入れていくのかということは大事だと思うが、今のご時世、いろいろなご家庭がある中で「あるべき姿」を示すこと自体がものすごくプレッシャーになるという一面がある。
 - ・この基本方針（3）自体が健やかな体の育成に特化した項目であるので、もう一度全体を見た中で、今の家庭の問題に帰ることにしたいと思う。
- 【副座長】
- ・もう1つ、これは学習状況調査の中で聞かれていることだが、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか、寝ていますか」というより、本当は睡眠時間がどれくらい取れているかが大事ではないかと思う。
 - ・例えば小学生が毎日12時に寝て6時に起きるでは、%は上がっても少し違うだろう、睡眠時間が足りていないだろうと思う。
 - ・直してくださいという訳ではない。
- 【座長】
- ・その他25、26、27ページについてどうか。
- 【委員】
- ・この辺のところは、運動、発達、総合的なものということがある中で、健やかな体の育成のところ「体を動かすことが好きになる取り組みが欠かせません」となっているが、やはり遊びの充実が今は一番、運動にいくまでの基本。
 - ・朝も自由に朝会がある前に校庭で遊んでいるという状況も、読み聞かせに行くところ。
 - ・さまざまな運動に親しむこともそうだが、遊びについて何かの形で入れてもらいたい。
 - ・幼児教育だけが遊びではないと思う。
 - ・総合的な運動の中は、やはり楽しくてうれしくて、またやろうという気持ちや意欲、心情や態度がどんどん伸びていくとすれば、遊びも検討してほしい。
- 【座長】
- ・例えば今の提案を受けて、25ページ1段落目「健やかな体づくりには、～とともに、子どもたち自身の自然な遊びや、自分に合った運動に親しむ」というような表現を入れてはどうか。
- 【委員】
- ・そのような表現を入れていただけるとうれしい。
- 【副座長】
- ・小学校の体育も、実は基本の運動の中で水遊び等、基本の運動に～遊びということが付いており、遊びを通して体育の事業もやっていくような形になっている。
 - ・朝登校してきた時等、授業外でも小学生は結構いろんな遊びを考えて遊んでいる。
- 【座長】
- ・例えば26ページに今の表現を入れるとすると、基本的方向のところ「発達段階を考慮しながら、遊び時間や体育の時間を」というように、遊び時間やと入れても良いかもしれない。
- 【委員】
- ・とても良くなった。
- 【座長】
- ・その他はどうか。
- 【副座長】
- ・27ページ具体的事業の学校保健委員会の推進で「推進」とあるが、学校保健委員会は今多分中学校、小学校、どこでもやっていると思う。

- 【事務局】 ・やっている。
- 【副座長】 ・なので、「推進」が良いのだろうかと思い、特にこの言葉が良いということはないが、気になった。
- 【座長】 ・他の項目では「充実」という言葉が多いのかなと思うが、「推進」もない訳ではなさそう。
- 【副座長】 ・学校保健委員会のやっていることをさらに発展させるとか、遊びのこと等もいろいろ考えて論議し、実りあるものにしていくということだろうとは思う。
- 【座長】 ・それでは、ここはこのままでいこうと思う。
- 【副座長】 ・基本目標（4）28、29、30、31 ページについてはどうか。
- 【副座長】 ・29 ページ②環境教育の推進に、ふるさとの環境に対する愛着と保全意識と書いてあるので、すごく良いと思った。
- 【座長】 ・30 ページⅡ多様な交流活動の充実とコミュニケーション能力の向上について、細かいことだがスペースが空いてしまっているため修正を。
- 【座長】 ・具体的事業に中学生手作り訪仏事業とあるが、これは何か。「訪仏」という言葉があるのか。
- 【副座長】 ・フランスに行く事業のことだと思う。
- 【座長】 ・フランスのことということであれば理解した。
- 【座長】 ・三徳山のことがあるため、何か関係のある事業かと思った。
- 【座長】 ・その他はどうか。
- 【副座長】 ・31 ページ③平和学習の充実について、29 ページ基本的方向の中には「平和教育を推進する」とあるが、より単発的な、範囲の狭い事業的なものについては「平和学習」、全体をとおしたものについては「平和教育」という表現を使っているという理解で良いか。
- 【座長】 ・今言われたのは、29 ページ基本的方向の4つ目の○の末には「平和教育の推進」とあり、概念としてはこちらが上位概念で、31 ページには子どもたちが実際に取り組む「平和学習」を言っているため、何かその意図があるのかというご質問。
- 【副座長】 ・今座長さんが言われたような意味合いかなと思ったが、平和学習の充実の具体的事業として、道徳教育の推進や道徳教育の推進という言葉が出てくる。
- 【座長】 ・単にこっちは「教育」こっちは「学習」をうっかり使っていましたということであれば、「平和教育」に統一された方が良いと思う、ということで良いか。
- 【副座長】 ・良い。
- 【事務局】 ・31 ページ③「平和学習の充実」を、「平和教育の充実」に修正する。
- 【座長】 ・基本目標（5）ふるさと愛の醸成、32、33、34 ページについてどうか。
- 【事務局】 ・委員さんより1つ話があり、32 ページの成果指標の2つ目、「地域や社会を～考えることがありますか」という質問に対してという指標があり、現状値と目標値がある訳だが、そもそもこの「ふるさと愛の醸成」という中で向けていきたいところは、ふるさと三朝町のことを知る、理解する、そして人に伝えるというようなことができれば、という意味合いであればこの指標ではなく、例えば「ふるさとの理解を伝えることができるか」というような、そういった指標の方が良いのではないかというお話をいただいた。
- 【事務局】 ・しかしこれについては、今の全国学力学習状況調査の質問紙を再度検討し、これに代わるものがあるとすれば、例えば小学生であれば「5年生までに受けた事業や課外活動で、地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機

- 会があったと思いますか」という設問があり、中学生はこれが「中学1、2年生までに～」という表現になる。
- ・この設問と違うところは、これまでそういった学習をしてきましたか、理解してきましたか、ということを知っているため、意味合いが今設定しているものと違って来る。
 - ・今設定しているものは内容的に、中学生はまだしも小学生にとっては少し難易度が高く、三朝町も全国も50%っていないという現状がある。
 - ・設問として、これ以上ふるさと理解に関係するような設問もなく決めかねているため、意見を伺いたい。
- 【副座長】
- ・ここで「何をすべきかを考えることがありますか」という設問に対する%が低いのは、「考える機会」を与えているかどうかを鍵になると思う。
 - ・学校の生活の中で、授業もとおして、これを考える機会があったかどうか。そういった機会がいろいろとあれば%は上がると思う。
 - ・ただ、「良くするために何をすべきかを」というのはなかなか難しいなと思う。
 - ・事務局が言われたように、地域のことを調べたり地域の人と関わったりということであれば、社会科の授業の中でかなり地域学習をしているため、かなり%は上がると思うが、それを良くするためにさらに何をすべきかとなると、その部分は難しい。
- 【座長】
- ・先ほど事務局が取り上げた別の設問について、その項目は成果指標に加えても良いのではないかと思いながら聞いたが、それをあえて加えない方が良いという理由があるか。
- 【事務局】
- ・特にはない。
- 【座長】
- ・成果指標を3つに絞っているというようなことがあるか。
- 【事務局】
- ・意図はしていないが、だいたい3つくらいに、としている。
- 【座長】
- ・その設問は恒常的か。過去に遡ってずっとあるものか。
- 【事務局】
- ・ある。
- 【座長】
- ・ということであれば、あっても良いかもしれない。
 - ・もちろんそこに現れない取り組みとして、こういうものがあるのではないか、ということはどう検証するのかという点では、また別のことが必要になるかもしれないが、とりあえず今回のこのコンセプトが、全国学テで恒常的に使われている設問で成果指標を立てていく、ということで設定されている点でいうと、先ほど指摘された「中学2年生までに～」「5年生までに～」ということを外す理由はないと思うため、付け加えてみてもらいたい。
- 【事務局】
- ・付け加える。
- 【座長】
- ・32 ページ3段落目、「新たな教育指導要領」になっているが、「学習指導要領」に修正するように。
 - ・その他、33、34 ページについてどうか。
- 【副座長】
- ・33 ページは基本的方向に、地域の環境や災害について～地域防災意識を高めますと挙げてあり、③地域防災教育の充実では地域防災学習を充実し、と挙げてあるため、すごく今に合っていて良いなと思う。
- 【事務局】
- ・34 ページの①について、【再掲】としているとおり、前にも食育の推進という項目が実はあったが、元々赤で修正していた部分としては、各校における給食の時間および各教科という書き方をしていたが、ここはふるさとに触れる機会の充実という項目であり、かつ三朝町の給食というものが県内でもトップレベルで地産地消を特化しているということもあるため、その記述を入

れてほしいという話が委員さんからあったことから、そういった記述に修正した。

【座長】

- ・これはこの形で良いか。
- ・その他 34 ページについてはどうか。

【各委員】

(意見等なし)

【座長】

- ・続いて基本目標（6）教育コミュニティづくりの推進、35、36、37 ページについてどうか。

【事務局】

- ・35 ページについて、成果指標の2つ目、学校サポート隊の登録者数としていくことについて、先日委員さんから話があり、そういった数字が取れるかどうか確認が必要ではあるが、これから人口が減少し、子どもの数も減っていくという流れの中で、当然に保護者の数もそれに応じて減っていくとするならば、保護者あるいはその地域の方の人口も減っていくとした中で、単に登録者数を持ってコミュニティづくりということに直結するというのは、そういった形で測れるものなのかという疑問を持たれていた。
- ・母数がどう変わろうとも、その登録された方の中で実際に1回以上、例えばいろいろな学校の活動もしくは、ボランティア等に参加された方の数を割合で示すことができ、例えば参加率のようなもので測れるのであれば、今と10年後で比べた場合でも、こういった地域の方々、保護者の方々が学校にどれだけ関わってきたのか分かる物差しになるかなという話もいただいた。
- ・これはすごくありがたい話だと思ったが、そもそも参加率というものが出せるかという課題があり、現時点では確認が取れていない。
- ・確認し、可能であれば、そういった表現に変えた方が良いかなと、私自身は思った。

【座長】

- ・今の件について皆さんはどうか。
- ・出せなくはないと思うが、どうだろうかと思う。
- ・確かに実働しているということはとても大事だと思うため、その数字を増やすという事は本意であろうと思うが、同時にそうやって登録してくださっている方が一定程度居ることが見える部分も大事なかなと思う。
- ・そこが増えていくということも、結構意味があるのではないかと考えているが、どうか。

【副座長】

- ・仮に10人くらいが学校サポート隊に申し込むと、この申し込んだ10人は結構出るため、参加率だけ取ると少人数でも%はすごく高くなると思う。
- ・いろいろな会、いろいろなところに出てくださいる方は、ありがたいことに、どれもしてくださいる。

【事務局】

- ・そもそも登録してくださいる方は、ということか。

【副座長】

- ・座長さんが言われたようにある程度全体を、と思う。
- ・特にこれから子どもの人数や保護者の人数は減るかもしれないが、その分高齢者の方は増えるため、協力してくださいるような社会になれば良いのかなと思う。
- ・高齢者とのふれあいをとおして～というようなことも書かれていたように、これからこういったものが大切になるのかなと思う。

【座長】

- ・そういう点で裾野が広がることが可視化できた方が良いなと思っており、参加率の率が上がるということは母数が減った方が参加率は上がる。
- ・それは特定の人だけがシャカリキになってやっているという姿にしか見えないということもある。
- ・こういったことを考えると、ここで示すべき成果指標としては裾野を広げて

- いることが見えるような方が良いのかなと思う。
- 【副座長】・質問だが、36 ページ①学校サポート隊の充実について、学校支援コーディネーターを配置しとあるが、これは全部配置されているか。
- 【事務局】・配置されている。
- 【副座長】・これは誰がしているのか。地域の人か。
- 【事務局】・具体的に言うと、南であれば協議会の事務局、東であれば保護者の方、西は地域協議会の会長が行っている。
- 【副座長】・学校と地域とのコーディネーターなので、うまく連絡を取り合っているというとか。
- ・今は学校にも地域担当がないか。私がしていたころは、地域担当というものを学校の校務分掌の中に設けており、その人も中心になって地域に働きかけていくというもの。
- 【委員】・人権教育の学習の機会の時に、学校の先生方が何処と何処の地域だということで、行政と学校職員と推進委員が行っており、何かあった時は民生委員、児童委員、学校の担当職員とで連携を持つというようなことも近年あるため、あると思う。
- 【副座長】・もう1つ、36 ページⅡ開かれた学校づくりの推進について、これは学校体育施設だけの開放で、例えば音楽室や家庭科室といったようなものまでの開放は考えていないということで良いか。
- ・社会教育が盛んな所は、音楽クラブに音楽室を、等行っていることもある。
- 【事務局】・ここは悩ましいところ。
- ・おっしゃるとおり、そういった学校もたくさん見てきており、そうあるべきだと思うが、やはりその前提には今の施設の見直しということも当然あるというところで、今の施設をどうするのかということがハッキリ決まっていないう以上、今の状況ではうたえないということがある。
- ・今後事業を進めていく中で、それに応じた形に情勢が変わってきた折には、追加することは十分可能だというところで、今そこまでは書けないと思っている。
- 【座長】・今の点は、ひとまず学校体育施設に絞るということ。
- ・その他はどうか。
- 【副座長】・37 ページ③コミュニティ・スクールの導入検討について、1段落目、学校とは各団体でも機関でもないと思うが、コミュニティ・スクールとは地域だけのもので学校運営協議会の中に学校は入らないのか。
- ・「学校と保護者や地域の連携を～特色ある学校づくりを推進するため」とあるので、前提として当然入っているということが良いか。
- 【座長】・もちろんそうだと思う。
- ・実際43ページに。コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の定義に書かれていることがあるため、そういう点では「学校・各団体や機関、地域住民および保護者で組織する」というように、学校を1番最初に持ってきて良いかもしれない。
- ・37ページまでについてはこれで良いか。
- 【各委員】（意見等なし）
- 【座長】・基本目標（7）教育環境の充実、38、39、40、41 ページについてどうか。
- 【副座長】・読んでいて1番スツと落ちなかったところが1か所あり、38 ページ2行目「教育環境を充実させ～実現を支えるものともいえます。」について、確かにいろいろな教育環境を充実させることは、知・徳・体のいろいろな面で支

えになっているのだろうと思うが、「主体的・対話的で深い学び」とは、新学習指導要領のアクティブラーニングではないが、キーワードの1つで挙げられていると思うが、教育環境が即それを支えるものという、それは段階が飛躍し過ぎているように思う。

- ・「主体的・対話的で深い学びの実現」という言葉はあってほしいが、むしろ3行目「これは、～支えるものともいえます。」と抜くと、きれいに上下の文章がつながるなという気がする。
- ・主体的・対話的で深い学びを実現するためには ICT の環境をというようなことだけを考えてしまうと、そうかもしれないが、他にもいろいろな要因があり、1つ2つ間にあるのではないかと思う。
- ・特に大切なキーワードだと聞いたこともあり、新学習指導要領でこういった言葉が出てくるのだろうと思うので、なくしてしまうのはどうかとも思う。
- 【事務局】
- ・補足すると、この2行目で言っている「教育環境」という言葉は、5行目にも書いているとおり、単なるハード面だけの話ではなくソフト面も含めて、周辺というような学校の内外も全て総括的にイメージしたもの。
- 【副座長】
- ・読めるためこのままで良い。この言葉も捨てがたいなと思っている。
- 【事務局】
- ・おっしゃるとおり、入れたかった気持ちがある。
- 【座長】
- ・私自身は副座長がおっしゃったところは、そう違和感はなかった。
- ・むしろ、こういう風に整理してほしいなと思っていたことは、教育環境と言った時に、子どもたちの学習活動を下支えして、その効果を高めるという意味での教育環境という側面と、そこで働いている先生方にとっての職場環境という側面がある。
- ・むしろここで強調したいのは、先生にとっての職場環境の改善を町として一生懸命やっていくんだ、ということ进行全面に出してほしく、初回に申し上げたのはそこ。
- ・そのトーンがやはり全体的に弱い感じを受ける。
- ・最初の段落はこれで良く、その後の教育環境とはハード面とソフト面の両方あるという整理も分かるが、町としてここでやろうとしていることは職場環境の改善なんですよ、ということ、文書として表現していただけるとありがたいのかなと思う。
- ・それを踏まえたとえで、例えば成果指標の並べ方について、まず今エアコンが1番上に出ているが、エアコンが1番上に出るべきなのか、それとも町費負担教職員配置数の方を先に出すのか、そのあたり、どの順番で並べていくか、職場環境改善という視点に立った時に、成果指標がどの順番で並びうる方が良いのかということ、考えていただけるとありがたいなと思う。
- ・そもそもそういうトーンを全面に出して良いのかということについて、事務局の意見を伺いたい。
- 【事務局】
- ・おっしゃるとおり、今おっしゃった、まさにそれを入れた方が良いと思う。
- 【座長】
- ・読んでいくと、第1段落目は指導要領が求めているものに対しての環境整備をすること、ということが書いてある。
- ・どちらかというと、これは子どもの学習活動にとっての意味合いが強いと思う。
- ・第2段落は教育環境というのはハード面ソフト面両方あるということが書いてあり、これも職場環境改善というように先生方が捉えるよりも、子どもの学習環境改善のように捉えてしまうニュアンスが強い。
- ・3段落目も、学校の信頼性というのは文章として違和感があり、「学校の質

という部分においては」と書いてある部分だが、「学校教育の質という部分においては、学校運営や教職員の信頼性」と書いてあるが、「学校運営や教職員に対する社会の信頼性」の意味で書こうとしたのかなと思うと、ここはどちらかというと社会から見た時の学校の質という側面になってしまい、これも先生方にとってはディフェンスに回りたくなくなってしまうような表現になっている。

- ・全体として職場環境改善を町としてやりますよ、というメッセージが見えにくいと思うため、そこを工夫してほしいと思う。
- ・38 ページ成果指標、町費負担教職員配置数について、目標値としてトータルの数が増えていないが、これを上増しする事はできないか。
- ・むしろ小学校については1人減っているようにも見えるが、何か学校から意見等はなかったか。

【事務局】

- ・ここはなかったが、現状値というのは3小学校で8人であり、2028年度は1小学校7人であるため明らかに増えているが、確かにすごく伝わりにくいと思う。

【座長】

- ・1小学校とするより、やるのであれば児童数に対してだと思う。
- ・児童数に対する加配の比率がどれくらいかということを見せる必要があり、その数字になるのであれば分かる。
- ・実数を示すとともに、その比率を併せて示してはどうか。

【副座長】

【座長】

- ・そう思う。
- ・39 ページ基本的方向について4つあるが、これも順番を工夫してはどうかと思う。
- ・1番目に今の3番目「教育が～」、2番目に今の1番目「充実した～」、3番目に今の4番目「誰でも～」、4番目に今の2番目「学校運営～」で良いのではないかと思う。

【副座長】

- ・40 ページ④教職員の質の向上推進の具体的な事業について、教員にとって大変助かるため、問題データベースを再掲しても良いのではないかと活用できると思う。
- ・41 ページ⑤教職員の働き方改革と教職員が子どもと向き合える体制づくりについて、2段落目に「校務を～検討します」とあるが、校務というと一般的には環境美化等を中心に行う校務員だと思う。
- ・教員免許状がないと授業を教えることはできないが、先生方が子どもと向き合える時間を確保するために、例えばプリントの印刷やプリントの丸付け等を、募集する際の仕事の内容に含めていただければ、ありがたいと思う。
- ・これは要望であり、プリントの印刷でも、その分の時間を充てることのできるため、先生方は大変助かると思う。
- ・もちろん草刈り等の環境美化も行っていただくが、それは学校の校長先生や教頭先生が行う等、私も教頭時代には休みの日に出て自分で行っていた作業のため、ありがたいことだと思うが、どちらかというと担任を持っている先生にとっては、そちらの方が良いのかなと思う。
- ・41 ページ③学童クラブ施設の検討と適切な整備について、小学校の校舎を鍵付きの扉で仕切れるようにしておき、学校が終われば生徒はそこに集まり、鍵は学童クラブの指導員の方が閉めて帰るといったような学校もあり、防犯等の関係はあると思うが、要望として。

【委員】

【事務局】

- ・空き教室はあるか。
- ・副座長さんが言われたことを含めて情報提供になるが、まず校務とあえて書

- いたことについて、学校の要望の大部分を占めるのがこの部分になる。
- ・鳥取県内で校務員、用務員を雇用しているところをあまり見たことはないが、県外に出るとほとんど居ることに私自身も気づき、居られる必要があると感じている。
 - ・現場の方に話をしても、同じように感じておられ、手が回らないと聞く。
- 【副座長】
- ・私は既に配置されており、さらに先生方の向き合う時間を確保するために、先ほどの単なるプリント等のことまで考えられてのことかと思っていた。
- 【事務局】
- ・そのため、三朝町で校務員、用務員が入ると県内ではかなりすごいことというか、他ではないことのため、これを何とかしたいという気持ちでいる。
 - ・逆に、今おっしゃったプリントを刷られるような方というのは、西小等は既に居られ、いわゆる学校主事さんになる。
- 【副座長】
- ・県費とか非常勤とかで居られる方か。
- 【事務局】
- ・そのとおり。そういった方が加配で居られる状況があり、どちらかという、そちらの方が望まれているという現状がある。
 - ・学童クラブの話について、これは逆に県内では割とあり、学校施設の中で空き教室を使って学童クラブをそこで、という学校が倉吉市内でも出てきているが、学校現場に聞くとあまり良い印象を持たれていないところがある。
 - ・学童クラブの方が管理するといえども、やはり同じ施設の中ということにすぐく神経を使っておられる。
 - ・校舎の中に学童施設があることが、保護者にとって安心という意味はあるが、本当にそれが望ましい形なのかということは、今後も検討する必要がある。
 - ・ただし、今年保護者の方にアンケートを行った結果として、現時点で統合後に学童クラブを何処に通わせたいかということについては、今の自分の家に近くが良いが、例えば今後学校を新たに建てる、改修するということになった時には、学校のすぐ近くにある方が望ましいというような意見が圧倒的であった。
 - ・その意見を踏まえながら、学童クラブのあり方や施設の場所についても、検討が必要かなと考えている。
 - ・そして現状、西小学校に空き教室はない。本当にプレハブを検討しなければいけないくらいの状況にあるが、今は特別支援教室が増えても何とかやりくりをしているような状況。
- 【副座長】
- ・先ほど紹介した例の、学校を使って学童クラブを行っているところの職員は、確かに事務局が言われたように、放課後になり学童クラブに預けるのだが、先生がいつも居ることが分かっているため延長のような感じになり、ここの宿題が分からない等どんどん子どもがやって来る。
- 【委員】
- ・三朝町では学童クラブを教育委員会が所管しているのか。
- 【事務局】
- ・今年から教育委員会の所管になった。
- 【委員】
- ・これまではどうか。
- 【事務局】
- ・健康福祉課が所管していた。
- 【委員】
- ・その辺りのところで大きく変わったことはあるか。
- 【事務局】
- ・単年で大きく変わったという訳ではないが、今後、学童クラブの施設のあり方を、学校施設の検討の1つとして一緒に考える意味としては、大きいのかなと思う。
- 【委員】
- ・これは連携事業にならないか。
 - ・高齢者が関わっている県もかなりある。
 - ・人が子どもたちと一緒に生活をしていく部分がこの社会は少ないため、所管

が変わったということではなく、健康福祉課等この計画をつくる時からもっと行政自体が連携してはどうかと思う。

- ・高齢者の問題や、保育所も同じで親の就労があるため、すごく元気をもらう人もあるため、その辺り、連携課題のようなものを1つ持っておいていただけると良いかなと思う。

- 【座長】
- ・今のはかなり、地域にとっての学校がどういう機能を持つべきかという本質のところがあり、実はそのことが教育にもすごく良い波及効果があるということがある。
 - ・岡山の県南の地域性も含めて少し困難な学校があり、その学校の中に地域の年配の方が集っていける場所をつくり、完全に収まる訳ではないが、やんちゃして無茶ばかりしていた子が優しくなるというか、大人しくなったということもある。

- 【副座長】
- ・子どもと高齢者のふれあい、世代間交流もできる。

- 【委員】
- ・学校統合をして建物ができるという時は、それぞれの年代の居場所づくりということを視点の1つに挙げておかないと、人口の流動はあると思うが、行ける所があるということは、今三朝町が7,000人を切るような人口になった時にとっても大事だと思う。
 - ・今あるものに空き教室はないということだが、そういった多目的なものが考慮されるような部分を検討し、それも教育委員会だけでは大変だと思うので、行政として考えてみてほしい。

- 【副座長】
- ・特に三朝小学校1つになってしまうと、南小学校区や東小学校区の地域の高齢者等は学校というものに向く機会がなくなるため、是非いくらでも来てください、これが新しい小学校です、子どもたちを見てください、というようなあったかい魅力のある学校になれば良いかなと思う。

- 【委員】
- ・地域に子どもの声が聞こえることが1番だと思う。
 - ・田んぼ道を朝マラソンするような子どもを皆が出て来て応援していたりするため、課題にしておいてほしい。

- 【座長】
- ・以上で基本目標（7）まで終わり、残るは資料編になるが、ここは事務局の方から何かあるか、我々の方から誤字脱字や、何か指摘した方が良ければご意見をいただこうと思う。

- 【事務局】
- ・何かあればお願いしたい。
 - ・前回、副座長さんの方から分からない文言について※等で表現を、という指摘があり、当初は各ページの下に置こうと考えたが、表等の関係で位置が難しく、あえて後ろにまとめた。

- 【座長】
- ・さらに載せるものとしては、諮問文以降のものが今回新たに追加されたということで良いか。

- 【事務局】
- ・そのとおり。

- 【座長】
- ・特段ないようであれば、以上ということになるがどうか。

- 【各委員】
- (意見等なし)

- 【座長】
- ・事務局の方から何か、追加でここも見てほしいというようなことがあるか。

- 【事務局】
- ・先ほどの基本目標（7）について、たくさんのご意見を頂戴したが、校長先生にも先生の立場から見た時に、例えば教育委員会や地域が学校や先生方にこんな事をさせようとしているのか、というような意識になってしまうような表現ではなく、教育委員会や町は、学校運営等に対してこういった支援をしてくれるのか、という期待を持てるような表現になっているかどうかという視点で、確認をしていただいた。

- ・そういった意味で、ここはカチンとくるかな、といったようなものについては修正していただいたつもりだが、先生方も優しいため、私からすると、おっしゃったとおり基本目標（7）、特に学校の質や信頼性という表現は、この表現で良いのだろうかと思いながら書いたところがあり、そこは赤も何も入っていなかったが、1番不安に思っていた部分。
- ・ここについてはこの後でも、やっぱりこういう方が良いのではないかな等あれば、教えていただきたい。

【座長】

- ・今の部分は私も気になっている。
- ・基本的方向にも出てきており、それが全面に出過ぎている感じがするため、むしろ職場環境改善ということ进行全面にしてほしいということで先ほど申し上げた。
- ・とはいえ学校教育の質や信頼性の確保は何より大事なことのため、いってみれば良い教育環境ができることが地域の信頼を勝ち得ることにつながるため、学校や教職員の質ということよりも、教育委員会が責任を持って教育環境を整えることが社会から見た時の学校に対する信頼性の確保につながるというトーンで書くと、主語が教育委員会になるため良いと思う。
- ・38ページ「主体的・対話的で深い学び」を「」（鍵括弧）で括ること。
- ・老朽化した学校施設の新築とあるが、これは新築か、改築か、新築という言葉があるのか。

【事務局】

- ・新築になるのか改築になるのかはっきりしていない。

【座長】

- ・今決まっていないため、両方書いているということであればいい。

【副座長】

- ・新小学校の設置検討事業として39ページに書かれており、検討事業に☆が付いているが良いか。今年行っているということか。

【事務局】

- ・今年行っている。

【座長】

- ・成果指標に先ほどの町費校務員を入れなくて良いか。入れると行き過ぎるか。

【事務局】

- ・イメージとしては例えば1人、2人を常勤で考えていたが、費用面等いろいろ考えた時、人を1人雇用することが本当に良いのか、例えばどこかに委託して半日で2人来ていただく体制の方が良いのか、そこは検討の余地があると考え、校務職員等という表現をしているのはそういった意図がある。

【座長】

- ・いろいろな戦略の中で考える話のため、無理に成果指標に入れてほしい訳ではないが、整理をするのであれば、今は0人で10年後は2人（各校1人ずつ）ですというように入れると良いのかなと思う。
- ・学校建築とも絡む話かもしれない。地域によっては学校の建物自体をリースで行っており、メンテナンス等は全てその業者が行うような形態で学校経営を行う事例も増えているため、そのこと自体が校務員さんの配置に直結するということもある。

【委員】

- ・私事で申し訳ないが48ページについて、私は元幼稚園長（公立）で終わっている。

【事務局】

- ・修正する、申し訳ない。

【座長】

- ・その他はどうか。

【各委員】

(意見等なし)

【座長】

- ・私の方での進行は以上とし、以下の進行は事務局へお返しする。

【事務局】

- ・修正、検討等行い、1月予定の第4回会議の前には資料を送付したいと思う。
- ・会議開始前に座長、副座長にはお話ししたが、次回の第4回会議で1つの区切りにしたいと考えており、会議が終わった折には、最後に答申という形で本ビジョンを「案」から「成案」として教育長へ返したい。

- ・策定審議会の検討は終わるが、その後始まるビジョンのPDCAサイクルにおける Check を誰が行うかという事があり、事務局としては本策定審議会の委員さんに、そのまま検討委員会のような名前として残っていただき、検証、検討をお願いしたいと考えており、これについてご意見をいただきたい。
- 【座長】
- ・我々は先に話を伺い、ある程度のことは申し上げたため、委員はどうか。
- 【委員】
- ・その案で良いと思うが、検討委員の構成員の中にどのような人材を入れていくか、ということを検討しないといけないと思う。
 - ・これは何のために、誰が活用し、将来どういう展望を持つかということが、最初に話し合われてこのビジョンに取り組んだように私は意識しているが、使うのが誰かと考えた時、先生方の拠り所として教育に生かしてもらうためには、校長先生の参加が必要だと思う。
- 【事務局】
- ・検討委員というような形で来年度もご検討いただきながら、併せて構成員の追加等についても検討し、それも次回には提案したいと思う。
 - ・次回の日程調整を行いたいが、1月の予定はどうか。
- 【副座長】
- ・座長さんの予定を優先してほしい。
- 【座長】
- ・1月9日、21日、23日、28日、30日のいずれも午前中であれば良い。
 - ・冬季のため前泊をお願いするかもしれない。
- 【事務局】
- ・各委員もお忙しい方のため、早急に日程を調整し連絡させていただく。
 - ・以上で第3回策定審議会を終わらせていただく。